

《履修上の留意事項》資料はすべて電子化したものを各自ダウンロードすることとする。紙資料の配布予定はない。

《担当者名》齊藤恵一（心）

【概要】

心理学は精神機能と行動の科学である。

本講義では、保健・医療・福祉分野で必要とされる心理学の基礎的な知見を概説する。

この講義を通じて、心理学の各分野における基礎的な知識を身につけ、それらについて説明できるようになる。

【学修目標】

感覚・知覚、学習、認知、動機づけと感情、ストレスと心の健康、比較行動学、発達、パーソナリティ、対人行動、文化と人間など、代表的なトピックにおける基本的事項について理解し説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	感覚・知覚	感覚と知覚の基本法則や、知覚と物理的世界の関係についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
2	学習	様々なタイプの学習（古典的条件づけや道具的条件づけなど）についての基本事項を理解し説明できる。	齊藤恵一
3	学習	様々なタイプの学習（観察学習、洞察学習、知覚運動学習など）についての基本事項を理解し説明できる。	齊藤恵一
4	認知	人間の記憶システムの特徴と機能についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
5	認知	人間の思考の特徴と機能についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
6	動機づけと情動	人間の行動を始動させ方向づける要因や、感情の種類・機能についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
7	ストレスと心の健康	ストレスとメンタルヘルスについての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
8	比較行動学	ヒト以外の種の行動の理解が心理学にどう役立つのかを理解し、説明できる。	齊藤恵一
9	発達	発達の諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
10	発達	発達の諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
11	パーソナリティ	パーソナリティの諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
12	パーソナリティ	パーソナリティの諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
13	対人行動	対人行動の諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	対人行動	対人行動の諸側面についての基本的事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一
15	文化と人間	文化に対する心理学的アプローチについての基本的事項を理解し、説明できる。	齊藤恵一

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

美濃哲郎，大石史博 編 スタディガイド心理学第2版 ナカニシヤ出版

【備考】

【ICTの活用】

学習教材（授業資料）の配布にはgoogle class roomを利用する。

【学修の準備】

予習：各回の「授業内容および学修課題」に挙げられているキーワードについて、教科書やインターネットなどを利用して事前に予習を行う。（2時間）

復習：学修内容を自分の言葉でまとめる。教科書や配付資料の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと（2時間）。

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

（DP5）多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。